

# 【講演】おせち料理に込められた願い 事業実施主体:わかやま市民生活協同組合(和歌山県)

- 和歌山県が実施した食生活に関するアンケート調査では、「地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている県民の割合」は42.0%(第3次和歌山県食育推進計画 目標値:60%以上)と低い状況にあり、食文化の保護・継承が課題となっている。
- 和歌山県の郷土料理に加え、日本の大切な食文化である「おせち料理」に焦点をあて、その歴史や食材のいわれ等を学ぶ講演会を開催した。

和歌山県

和歌山県  
和歌山市

## 【取組の内容】

- 和食は、ごはんを中心に四季折々の新鮮な食材を使用したバランスの良い食事であることに加え、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかい等の作法、正しい食べ方などを再認識してもらった。
- おせちの歴史や使用食材に込められた意味、重箱の詰め方やお正月の食文化であるお屠蘇や祝い箸について、クイズも出題し、楽しく学べる場とした。
- 講演会の模様はオンラインでも配信し、遠方の方でも参加しやすくなった。



## 【取組の成果】

- 地元でとれる素材の持ち味を生かして、家族の健康と幸せを願い、心をこめてお重に盛るのがおせちの原点である。食材に込められた意味に願いを込め、食べる人の喜ぶ顔を思い浮かべながら準備することが大切であり、食文化を継承していくことの意義について理解が深まった。
- 講演後のアンケート結果では、「身近にいる人に教えてもらうものである」との考えが大半を占めた結果であったが、単身世帯の増加や地域コミュニティの希薄化等で継承の機会が少なくなっていること等の課題が見えた。

### 【事業の目標】

- 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法などを継承し、伝えている者の割合  
事業実施前 42.0%  
→事業実施後 82.8%
- 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民の割合  
事業実施前 65.3%  
→事業実施後 93.1%

